



定例会の議案審議、一般質問などの詳細は、上記のQRコードから映像でご覧いただけます。

11月号

編集・発行/藤井寺市議会

☎939・1208

ふじいでら 市議会だより

令和6年第3回定例会のあらまし

令和6年第3回定例会は9月3日から9月26日までの24日間の会期で開催され、令和6年度の補正予算、報告案件、条例の一部改正及び制定など17案件について、委員会・本会議を通じて慎重に審議を行い、すべての案件を議決して閉会しました。

国に意見書を提出

次の意見書を全会一致で採択し、関係機関に善処を求めました。

◎慢性閉塞性肺疾患（COPD）の潜在的な患者に対する適切な対応を求める意見書

令和6年第2回臨時会のあらまし

令和6年第2回臨時会は10月11日に開催され、議案4件について、本会議を通じて慎重に審議を行い、すべての案件を議決して閉会しました。

一般質問



改革ふじいでら

代表質問

山本 忠司

1 にぎわい・観光施策について

質問 観光施策による交流人口の増加に関して本市の認識と、目指すところを伺います。

答弁 観光振興を重要施策と位置づけ、豊かな歴史文化を活かし、まちの魅力向上と観光振興の取り組みなどにより、にぎわいあふれるまちを目指します。

質問 具体的な取り組みを伺います。

答弁 プロモーションやPRを積極的に展開し、本市の知名度とイメージの向上による交流人口の増加を目指します。

質問 近隣市町村と共同による広域的な取り組みを伺います。

答弁 令和5年から大阪はびきの観光局が本格的に始動され、古市古墳群を共有する本市としても取り組みに賛同し、広域的な観光振興を図っております。

質問 万博首長連合の主催で、道明寺天満宮に万博関係者を招いて親睦会をされていましたが、近隣市と連携した取り組みを伺います。

答弁 羽曳野市・富田林市・大阪狭山市と連携し、在日エジプトの方々などを対象に交流事業を行う予定であります。今後も近隣市町村のトップ同士との連携を図り、プラスワンの観光先としてエリアの魅力に触れていただくように進めてまいります。

要望 今後も、市長が先頭に立ち、南河内エリア全体で観光振興がより活性化するように努め、交流人口の拡大を図っていただくことを要望します。

2 今後のまちづくりについて

(1) 八尾富田林線整備事業について

質問 事業の進捗状況を伺います。

答弁 路線全体の用地買収率は70%を超え、順次、埋蔵文化調査を進められています。また、南工区については、令和7年春から2車線の暫定形での供用を予定していると聞いております。

質問 整備されることで、既存の市街化区域の用途地域についても検討が必要ですが、本市の考えを伺います。

答弁 沿道やその周辺の住民から土地利用に関する考えを聞き、用途地域のあり方を検討していきたいと考えております。

質問 藤井寺自動車教習所から北側の未着手区間について、今後の工事予定を伺います。

答弁 埋蔵文化財調査も含めた道路工事を、令和7年度中に発注する予定と聞いております。

質問 今後の汚水や雨水の整備について伺います。

答弁 汚水については八尾富田林線の歩道部に、また雨水については車道部に整備予定であるため、大阪府と連携を取り一体での施工を要望しています。

要望 今後も大阪府と連携し、工事完了に向けて事業を推進していただくことを要望します。

(2) 津堂・小山区のまちづくりについて

質問 戸田建設(株)が一括業務代行予定者に選定されましたが、その提案内容を伺います。

答弁 土地利用計画として、事業活用エリアは物流施設ゾーン、暮らしを営むエリアは住宅や公園、医療・健康福祉施設、商業施設、農地などのゾーン設定が提案されております。

質問 今後の予定を伺います。

答弁 準備組合として土地区画整理事業の認可申請を行い、令和7年度内の組合設立、令和13年度の事業完了を目指します。
要望 準備組合として、今後も様々な課題や問題が出てくると

考えますが、地権者一丸となり乗り越えていただきたいと思います。また本市としても、技術援助の申請を受けましたので、しっかりとバックアップし進めていただくよう要望します。

の財源が必要であり、歳出抑制や国庫補助事業の活用、また自主財源の開拓などの取り組みが重要と考えております。
要望 市長のリーダーシップのもと、市一丸となり取り組んでいただくことを強く要望します。

(3) 道明寺地区のまちづくりについて

質問 道明寺駅周辺の整備予定を伺います。

答弁 令和6年度に駅前道路を整備し、令和7年度に道明寺天満宮の南北道路、令和8年度に道明寺天満宮から東高野街道までの道路美装化工事を行う予定です。

要望 今後も、道明寺の特性を最大限に活かした魅力あるまちづくりに取り組んでいただくよう要望します。

(4) 市民病院跡地活用の考え方について

質問 市民病院跡地の土地活用の検討が進められていますか、本市の考えを伺います。

答弁 立地適正化計画に基づく支援の獲得や官民連携での土地活用など可能な限り財政負担の軽減を検討してまいります。

質問 厳しい財政状況の中、今後のまちづくりと行財政運営の両方の手腕が問われますが、市長の考えを伺います。

答弁 市民病院跡地活用は相応



改革ふじいでら

個人質問

横山 太喜

1 子どもの遊び場について

(1) 都市計画マスタープランについて

質問 マスタープランとは当市のまちづくりの方針を示すものであり、その改定に向けた市民意識調査が実施されました。まず調査にご回答いただいた市民の皆様へ感謝申し上げます。この調査ではボール遊びを含めた子どもの遊び場を求める要望が数多くありました。市の対応を伺います。

答弁 解決すべき課題と捉えマスタープランの改定を進めてまいります。

(2) 市内の公園等について

質問 市内でボール遊びが行える場所はあるのか伺います。

答弁 全ての公園でボール遊びを禁止しております。
(3) 校庭開放について

質問 遊び場がないため道路や史跡周辺などでボール遊びを行い、近隣の方から苦情があると伺っております。

答弁 月に複数回の苦情が寄せられることもあるため、学校を通じて指導しております。

質問 子どもの遊び場として平日の放課後に小学校の校庭を開放するような新たな取り組みが必要と考えますが、その際の課題を伺います。

答弁 児童の安全管理を誰が担うのか、傷害保険の加入、児童の安全管理を担う見守り員の配置とそれに伴う人件費、また公園のように自由に校庭を利用できるようにした場合、ケガや事故は利用者の責任となることを保護者に理解していただく必要があります。

要望 ボール遊びを含めた子ども遊び場を確保することが、苦情減少にもつながります。公園でのボール遊び一律禁止の緩和や放課後の校庭開放などの実現を目指してください。

2 歳入について

(1) 基金運用について

質問 他市では基金を運用して、債券などを購入し、その利回りで多額の運用益を得ています。当市の運用状況を伺いま

す。

答弁 市の基準により現金保管が中心のため債券運用などは行っておりません。

要望 歳入増加のために債券運用などが行えるよう運用基準を見直ししてください。

横山太喜の議会質問の録画映像はこちら



公明党
代表質問
伊藤 政一

1 マイナンバーカードについて

(1) マイナンバーカードの活用法について

質問 マイナンバーカードの現在の活用法をお聞かせください。

答弁 各種行政手続きのオンライン申請、マイナポータルで転出届、パスポート更新申請、コンビニ交付、マイナ保険証など使用する機会は増えています。

(2) 利用促進の取り組みについて

質問 本市の取り組みをお聞かせください。

答弁 今後ますますニーズが増

えると想定し、市民が安心して利用できるサポート体制を考えております。

要望 サポート体制を整えていただくことを要望いたします。

(3) マイナンバーカードの課題について

質問 今後の課題があればお聞かせください。

答弁 マイナンバーカードの取得は任意のため今後の保有率の大幅な増加を見込むのが困難なことが課題であると認識しております。引き続きマイナンバーカードの申請サポートや休日の臨時窓口など市民に寄り添った取り組みを継続します。

要望 今後更にカードの機能を使いやすくする環境が整ったときに迅速に利用促進ができるよう情報共有や発信に努めていただくことを要望いたします。

2 古市古墳群について

(1) 国史跡古墳の整備について

質問 市内の古墳で、敷地内に入る6基の国史跡古墳ですが、同じ国史跡古墳でも整備がなされた古墳と整備されていない古墳があるのは、どのような理由なのかお聞かせください。

答弁 史跡指定地の公有化の進捗など整備に向けた環境が整っていることや、緊急的な保存が

必要な古墳を整備している。羽曳野市と共同で「史跡古市古墳群整備基本計画」を策定し、示された方策によりユネスコ、文化庁、大阪府と協議検討し今後の方針を検討している。

質問 敷地内に入ることでできる6基の古墳のうち、鉢塚古墳の整備はどのように進められるのかお聞かせください。

答弁 鉢塚古墳は、墳丘表土に崩落が認められるので、まずは保存のための整備を行う。整備については、整備基本計画の方針に沿って検討し、「遺産影響評価」を実施し進めます。

要望 お子さんや親御さんも安心して集える古墳の整備を要望いたします。

(2) これからの古墳整備について

質問 古墳、史跡の整備についてお聞かせください。

答弁 古墳整備には、保存のためと、活用のための整備があり、まずは保存が前提となります。

要望 これからも保存と活用のための整備をお願いします。

質問 古墳群に来訪者が増える中、各市の課題がトイレなどの整備です。新たに整備するために、必要な項目があります。そ

の課題をクリアーできるのが、既存のトイレの整備です。野中宮山児童公園に設置されているトイレは、整備に適応すると考えますが、本市の対応をお聞かせください。

答弁 野中宮山児童公園のトイレは公園の西側に位置しています。西側の公共下水道の整備に合わせて改修を行うことが適正であると考えております。

要望 野中宮山児童公園は位置的にも大変よく、来訪者の利便性に適しています。西側の公共下水道工事が実施されるときにトイレの改修工事も適正に実施されることを要望いたします。



公明党
個人質問
水谷 雄路

1 認知症を発症しても安心して暮らせる社会づくりについて
(1) 認知症に対する正しい理解を深める広報活動の展開について

質問 本市においての取り組みをお聞かせください。

答弁 本市では認知症に関する情報として、広報紙やパンフレットをはじめ、ホームページにおいて周知しております。まだまだ情報発信は不十分のため、より充実した情報を発信し

てまいります。

(2)ユマニチュード講演の実施について

質問 ユマニチュード講演の普及も必要だと思いますが、考えをお聞かせください。

答弁 ユマニチュードを実践するためには、介護現場において、多くの時間と人手が必要になることもお聞きしております。課題点も踏まえて、今後検証してまいります。

(3)認知症の人の行方不明者対策の強化について

質問 認知症の行方不明者の生命を守る取り組みを推進すべきと考えますが、見解をお聞かせください。

答弁 認知症の高齢者数も年々増加することが見込まれていることから、本市におきましても行方不明者の増加は懸念されます。今後の行方不明者対策へ検討してまいります。

要望

認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して生活するためにも、本市においての絶大なるバックアップ体制が必要だと思えます。例えば、他市におきましては、認知症高齢者等個人賠償責任事業を展開しており、市が保険契約者として個人賠償責任保険に加入することで、認知症高齢者などが日常生

活における偶発の事故により第三者に対して法律上の損害賠償責任を負う場合などに保険金の支払いを受けることができ、被保険者の保険料の自己負担はありません。また強く要望したいのは、QRコードが記載されたシールなどの普及など、認知症家族が安心できる取り組み、認知症の行方不明者の生命を守る取り組みを進めていただき、本市において認知症を発症しても安心して暮らせる社会づくりの構築を要望させていただきます。

2 带状疱疹ワクチン助成について

質問 国は、接種費用を公費で補助する「定期接種」に含める方針を決めました。今この時に大阪府内のどの自治体よりも先駆けて、带状疱疹ワクチン助成の取り組みの体制づくりをすべきと考えますが、お答えください。

答弁 今後も定期化に向けた国の動向を注視し、詳細や開始時期が確定した場合に、速やかに接種ができる体制を準備してまいります。

要望 市民の中には、この带状疱疹ワクチン助成を「今か、今か」と待ち望んでおられる方も

います。一日も早く、带状疱疹ワクチン助成を藤井寺市として発表していただくことを要望いたします。また、带状疱疹の発症率は50歳を境に急激に上昇します。何卒、国に対しては「適正な接種対象年齢を判断するよう」強く要望をしていただきたいと思えます。



大阪維新の会
代表質問
生田 達也

1 職員採用について

(1)キャリア・リターン制度について

質問 公平性・客観性・透明性の確保、加えて納得性を高める人事評価制度の見直しの進捗状況を伺います。

答弁 職員の意見も反映された仕組みの構築に努めるため、令和6年度中に職員アンケート調査や職員研究会を立ち上げます。

要望 働く動機付け、モチベーションアップを図る人事評価制度の見直しは必要です。また、今後の人材不足が深刻になるなか、優秀な人材を確保する

方策は複数持つておくべきで

す。在職中に培った知識・経験があり、退職後に更にスキルを身に付けた即戦力の再活躍の場を提供するキャリア・リターン制度は有効です。本市も取り入れるべく調査研究を要望いたします。

2 自治体クラウドファンディングについて

(1)現地決済型ふるさと納税について

質問 アイセルシユラホールのリニューアルに係る自治体クラウドファンディング実施の検討状況を伺います。

答弁 具体的で、イメージしやすい内容をお示しし、寄附が集まる令和6年11月から令和7年1月で実施する予定です。

要望 ご寄附を募る制度の一つに、現地決済型ふるさと納税制度があります。この制度は、本市にお越しいただいた方がその場で寄附し商品を受け取ることができ、返礼品事業者も発送手続が不要となるケースがあるなど様々なメリットがある制度で、寄附額も増える要素となることから、この制度の導入を要望いたします。

3 「もしも」に備えた市民サービス向上について

(1)感染症対策対応について

質問 未知の感染症が発生するリスクは無くなった訳ではなく、新たな感染症に備えるため、この度の新型コロナウイルスの本市が実施した対策を検証し未来に活かす必要があります。保健所や医療機関なども交え検証を行ったのかを伺います。

答弁 行っていないです。

要望 他市は委員会を立ち上げ次に活かす検証を行っております。パンデミックは起き、多くの被害者が出ました。この経験を無駄にしないためにも関係団体との検証、給付金の使途も含めた庁舎内での検証をしっかりと行い記録として残し、市民にも公表いただくことを要望いたします。

(2)自治会の活動保険について

要望 自治会活動を活性化していくために、自治会の様々な行事や活動に参加いただくことが重要です。本市が現在導入している全国市長会市民総合賠償補償保険では、市が依頼する自治会活動中の事故についてのみの補償で、対象者や対象活動も限定的で、補償は皆無が現実です。平時の自治会活動全般が対象となり、加害者になってしまった際の賠償責任保険も附帯

する保険制度を、経費と補償のバランスを考慮し、導入いただくことを要望いたします。

(3)終活情報登録について

要望 独居の高齢者が増えるなか、65歳以上の市民を対象に、病気や事故などで意思の表示が困難になったときや、お亡くなりになったときに緊急連絡先や葬儀・預貯金など遺品に関する生前契約といった終活関連情報を、市に無料登録でき、事前に指定した子どもや親族に情報を開示する制度は市民サービスの向上に寄与します。そのようなニーズが増えるのは確実で、先を見越して大阪府で初めての取り組みを目指し、導入するための調査研究を要望いたします。



大阪維新の会
個人質問
河井 計実

1 大阪・関西万博について

質問 大阪・関西万博を前に、ガス爆発や地盤の弱さ、大規模災害時の対応が不安視されており、機運醸成や万博推進の弊害になるとの懸念があります。これらの問題の認識を伺います。

答弁 博覧会協会は、メタンガス爆発への対策として換気装置を設置し、ガス濃度をコントロールしています。ガス濃度は

会期中も測定され、結果が毎日公表される予定です。また、夢洲は海面から10m高く埋め立てられ、液状化や津波対策も講じられていきます。災害時には15万人が3日間滞留できるよう、60万食の備蓄も用意されています。引き続き、博覧会協会からの報道は確認してまいります。

質問 万博での子どもの2回目招待の予算を計上されていますが、その意図を伺います。

答弁 無料招待する事により、より深く万博の多様なテーマや展示に触れる事ができ、会場での体験を経て、万博を貴重な学びや経験の場としてもらう事で、子どもたちの成長を支えるだけでなく、社会全体の未来への投資につながるものと考えております。

質問 藤井寺市は万博で何をPRし、地域連携や発展戦略をするのかを伺います。

答弁 万博ではクラフトビルや古市古墳群をPRします。地域と協力して魅力を発信し、アイセルシュラホールを拠点に、万博後の発展も目指します。

要望 メタンガスや津波対策が万全で安心しました。私は視察で会場の規模に驚き、建設が順調なことを確認しました。地域の歴史や特産品を活かした魅力

発信を行い、現地視察を通じて準備を進めるよう要望します。

2 災害時の水の確保について

質問 気象庁が「南海トラフ地震臨時情報」を発表し、大地震への備えが重要となっています。断水人口が3440万人と予想されており、防災井戸の確保が重要です。私は以前、学校で防災井戸を掘った経験があり、道明寺小学校に寄贈された防災井戸を見学し、感銘を受けました。寄贈の経緯を伺います。

答弁 令和5年に市民から防災井戸の寄贈申し出があり、学校で設置を決定。令和6年5月に工事完了し、発電機も寄贈されました。

要望 道明寺小学校に設置された井戸は、防災対策を強化し、災害時に安全な水を供給できる重要な取り組みです。学校は避難所としても役割を果たし、ライフラインが断たれても避難者の生活を守ります。市民の厚意に感謝します。引き続き官民の連携をお願いします。

質問 市内で災害時に井戸水を提供いただける制度はありますか。また、制度がある場合、井戸は何か所あり、停電時にも使用可能かを伺います。

答弁 本市の「災害時協力井戸」には23件が登録され、停電時でも使用可能な井戸もあります。

質問 飲料水の供給方法を伺います。

月からは「B類定期接種」の取り扱いになり、違いは特例臨時接種は市民への接種の勧奨が必要で、65歳以上においても接種を受ける努力義務がありました。一方のB類定期接種は接種勧奨の必要はなく、努力義務もありません。接種券の送付は行わず、あくまでも接種は各個人の判断です。また接種費用は令和6年10月からの接種では自己負担額が発生します。季節性インフルエンザワクチン接種については令和5年同様1千円の自己負担。新たに実施されます新型コロナワクチン接種については3千円の自己負担での接種となります。

要望 大阪広域水道企業団の運営で水源が増え安心です。井戸の設置を広げ、防災力を強化すべきです。市民からの寄贈の井戸を有効活用し、「災害時協力井戸登録制度」の拡充を進め、地域で防災意識を高めてください。

大阪維新の会の議会質問
の録画映像はこちら▼



政新クラブ
代表質問
國下 尊央

1 新型コロナワクチン接種について

質問 令和5年度まで行われていた接種と違う点についてお聞かせください。

答弁 令和5年度までは「特例臨時接種」でしたが令和6年10

月からは「B類定期接種」の取り扱いになり、違いは特例臨時接種は市民への接種の勧奨が必要で、65歳以上においても接種を受ける努力義務がありました。一方のB類定期接種は接種勧奨の必要はなく、努力義務もありません。接種券の送付は行わず、あくまでも接種は各個人の判断です。また接種費用は令和6年10月からの接種では自己負担額が発生します。季節性インフルエンザワクチン接種については令和5年同様1千円の自己負担。新たに実施されます新型コロナワクチン接種については3千円の自己負担での接種となります。

2 デコ活について

質問 デコ活ではどのようなことが推奨されているのですか。

答弁 デコ活では暮らしの全領域を大きく7分野に区分し、取り組みが紹介されています。代表的なものですと住宅の断熱

化・再エネルギーの導入など、住宅内ではLEDやエコ家電のエコグッズの選択が推奨されています。衣類の分野ではクールビズ・ウォームビズの実践が推奨されています。

質問 衣類の項目についてお聞きます。市の取り組みのエコスタイル時の服装についてお聞かせください。

答弁 エコスタイルとして、クールビズは5月1日から10月31日の期間、施設内を適正冷房28度に設定しノーネクタイ・ノージャケットなどの軽装スタイルで業務を行っており、またウォームビズは、12月1日から3月31日の期間、衣類を1枚多く羽織ることで施設内における適正暖房を19度に設定し、軽装や動きやすい服装で業務を行う事で、省エネを進めることができ結果、温室効果ガスの削減に資するものと考えています。

要望 「藤井寺市ゼロカーボンシティ宣言」から1周年を迎え、市民、事業者、行政が一体となって地球温暖化対策に取り組まれているのがわかりました。今回は省エネ対策の一環としてのエコスタイルについて取り上げました。市民の皆様には不快感を与えないTPOをわきまえた服装選びをすることを踏まえた

上で、いくつかの自治体では年間を通じてノーネクタイを推奨されているところもあります。私の考えとしては、ネクタイにとらわれることなく、環境に配慮した働きやすい職場環境にしたいだくことを要望します。

3 人事院勧告について

要望 民間企業との比較によって、国家公務員の給与をバブル期以来32年ぶりの高水準となる2・76%引き上げよう人事院勧告が出されました。人口減少社会で組織が安定的に優秀な人材を獲得、確保するためには人への投資を惜しんではいけないということの表れでもあります。わが会派が常々申しております。わが都市間競争、自治体間競争に勝つためのマンパワーを整えなければならぬと思います。このことを踏まえ人事院勧告への対応をしていただくことを強く強く要望いたします。

4 水道水のPFAS(ピーファス)汚染について

(1)健康被害について

質問 水道水のPFAS汚染とは、どういったものかお聞かせください。

答弁 ピーフォスとピーフォア

があり難分解性、高蓄積性、長距離移動性という性質があるため、環境や食物連鎖を通じて人の健康や動植物の生息や生育に影響を及ぼす可能性が指摘されています。水道では令和2年4月に、ピーフォスとピーフォアが水質管理目標設定項目に位置づけられ、これらの合算で50ng/L以下という暫定目標値が国から示されました。しかし国内の一部地域では、水道水からそれらの物質が暫定目標値を超過して検出されたとの報道があります。以上、これらの内容について大阪広域水道企業団より報告を受けております。

(2)藤井寺市の状況について

質問 藤井寺市の水質調査についてお聞かせください。

答弁 大阪広域水道企業団藤井寺水道センターに確認したところ、これまでに暫定目標値を超過したことはなく、直近の検出状況は令和6年7月に道明寺浄水場で20ng/L、船橋浄水場では、17ng/Lでした。また、本市が受水している淀川を水源とする大阪広域水道企業団水道用供給事業の村野浄水場では令和6年8月に13ng/Lとの報告を受けております。

要望 国内においても暫定目標値を超えている場所もあること

から、市民に安全・安心な水を提供出来るように、万が一にも備え、今後も定期的な水質調査を実施し、監視の強化を図っていただくよう要望しておきます。

國下尊央の議会質問の録画映像はこちら



日本共産党
代表質問
木下 誇

1 アイセルシユラホールの観光拠点化について

質問 令和7年4月のリニューアルオープンに向けた具体的な運営について教えてください。

答弁 1階の観光案内や物販、飲食、図書コーナー、2階の展示コーナーについて令和7年8年度は市が直営で運営します。

質問 市が直営で運営すると判断した理由を教えてください。

答弁 令和7年4月からの運営について事業者への委託も検討したが、費用面での課題もあり現段階では直営での運営を予定している。今後、運営事業者への委託については令和9年度に

向け、指定管理者制度導入を検討する中で民間活力の導入によるサービス向上が期待できるのか費用対効果等も含め十分に検討し、引き続き最も有益な事業運営の在り方を探っていきます。

質問 具体的にどのようなイベントの開催や取り組み、サービスの充実を図っていくのかお聞かせください。

答弁 具体的な運用内容については現在検討中で具体的に回答するまでには至っていません。

要望 民間委託は費用面が課題であり、直営での運営を予定しているとの事ですが、観光拠点化に多額の工事費用を投入せずに最初から直営で運営すればはるかに費用面を抑える事ができたと考えます。現在、具体的にどのような取り組みや事業を行うか全く示されておらず、大阪関西万博の開幕に合わせるスケジュールありきの見切り発車である事は明らかです。こうした進め方は市民の納得や理解は到底得られないと強く指摘します。

2 猛暑から住民の命を守るために

質問 近年、記録的な猛暑により本市の熱中症に関する緊急搬

送の件数も増えています。そのような中で、生活保護世帯におけるエアコンが設置されていない世帯は把握されていますか。

答弁 おおよそ20世帯程度であると認識しています。

要望 物価高騰の中、保護費をやり繰りしても日々の生活を送ることが精一杯でエアコンを設置できないケースがあり、それは憲法で保障されている生存権が守られていない。他市では生活保護世帯向けのエアコン設置補助制度を実施している。本市でも補助を行うよう強く求める。

3 住宅リフォーム助成制度の復活について

要望 平成30年度から2年間、実施された住宅リフォーム助成制度は定住移住促進事業として位置付けを変え、一定のニーズがあった事は市も認めています。従来の住宅リフォーム助成制度に太陽光発電設備やエネファーム、家庭用蓄電池やZEH住宅への補助など省エネやカーボンニュートラルに対応できる新たな住宅リフォーム助成制度を実施してください。

4 子育て世帯の負担軽減を求める

質問 現在、国民健康保険料のうち子どもを産むと国保料の負担が増える均等割額を未就学児まで5割減額する措置が制度化されています。さらに市独自で18歳までの子どもの均等割額を全額軽減した場合の効果額と必要経費をお答えください。

答弁 低所得世帯の軽減措置の対象とならない一般世帯では子ども一人につき4万6207円が減額されます。新たに必要となる経費は約2438万円です。

要望 国保特別会計の基金は約5億円あります。それを活用し、他市でも実施している均等割相当額の支援金を、市独自で子育て支援策として支給し、学校給食費の無償化の実施を求めます。



日本共産党
個人質問
長尾 匡浩

1 子ども・若者の困難に寄りそう支援の充実について

質問 若者に対応する支援は多岐に渡っています。相談や支援に結びつくための窓口や組織体制が必要ではないでしょうか。

答弁 既存の窓口や関係機関が連携強化を行うことで包括的な支援体制につながると考えているため現状想定しておりませ

ん。

要望 関係部局や関係機関との連携を強化し、切れ目のない支援の充実に努め、今後若者に関する諸課題に対応していくための組織を設置することを求める。

2 若者の声が届く市政の実現に向けて

(1) 若者会議の設置について

質問 若者の考えや声を市政に取り入れていく若者会議について市長の考えを聞かせください。

答弁 既存の仕組みなどを活用し、施策につなげたいと考えているため予定しておりません。

要望 若者の考えを受け止める若者会議の設置を強く求める。

(2) 市独自の奨学金返還補助制度の創設を

要望 人材確保策や定住促進策として奨学金返還補助制度の創設を強く求める。

3 加齢性難聴者への補聴器購入補助制度の実現を求める

質問 地域の通いの場で、難聴に関する講話や聞こえづらさの調査が必要と考えます。市の考えをお聞かせください。

答弁 次期いきいき長寿プラン策定に向けたアンケートを行う

際に、聞こえに関する調査や通いの場での啓発に取り組んでいきたいと考えています。

要望 市として聞こえづらさの現状把握を行い、補聴器購入費補助制度の早期実現を求めます。



会派に属さない議員
個人質問
花崎 由貴子

1 観光案内施設について

質問 アイセルシユラホールの観光拠点化の改修工事は不要であると訴えていましたが、着手されました。観光案内所としての機能を持つため「ゆめびらぎ」は重複する施設です。今後のあり方についてお聞かせください。

答弁 商工会と検討しています。

質問 市の観光案内所として道明寺天満宮前のMONZENに委託が内定したと情報がありますが、どういうことでしょうか。

答弁 民の取り組みであり市が委託を行うものではありません。

要望 観光には経費をかけず、

住みやすいまちづくりに力をいれてください。

2 不登校児童生徒の支援について

質問 校内教育支援センターの状況をお聞かせください。

答弁 全ての中学校と1つの小学校に設置しています。

質問 近隣の小学校の子どもが利用することはできませんか。

答弁 困難ですので、市教育支援センター「ウイング」を設置しています。

要望 教育機会確保法に、どう学ぶかを選ぶのは子どもの権利であり不登校を支援するためには関係機関全てがつながり支え合うことが重要とあります。体制を強化するために第3期藤井寺市子ども・子育て支援事業計画に会議体の設置とウイングの移転など体制の検討を求めます。

3 障がい者理解について

要望 学んでも理解の低い職員がいるように感じます。更なる理解促進に努められること、市からのSNSの発信に理念に基づいた福祉的な要素を増やすことと公共施設が障がい者の方々にとって使いやすくなっているか再点検をお願いします。

令和6年第3回定例会・第2回臨時会議決結果一覧

議案番号・議案名			会派・議員名			改 革			公明党			維新の会 大阪			政新クラブ			日本共産党			無会派			結 果
			山本 忠司	畑謙 太郎	横山 太喜	片山 敬子	伊藤 政一	水谷 雄路	生田 達也	松木 洋介	河井 計実	國下 尊央	岡本 光	木下 諤	長尾 匡浩	花崎由貴子								
第3回定例会	議案第46号	藤井寺市立にぎわい・まなび交流館条例の制定について	○	○	○	議長のため 表決せず	○	○	○	○	○	○	×	×	×	原案可決								
	議案第47号	藤井寺市立観光・歴史文化交流センター条例の制定について	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	原案可決								
	議案第48号	大阪府後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決								
	議案第49号	大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更に関する協議について	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決								
	議案第50号	令和6年度藤井寺市一般会計補正予算（第4号）について	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決								
	議案第51号	令和6年度藤井寺市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決								
	議案第52号	令和6年度藤井寺市介護保険特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決								
	議案第53号	藤井寺市国民健康保険条例の一部改正について	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決								
第2回臨時会	議案第54号	令和6年度藤井寺市一般会計補正予算（第5号）について	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決								
	報告第10号	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度藤井寺市一般会計補正予算（第6号））	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認								
	議案第55号	財産の取得について（追認）	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決								
	議案第56号	財産の取得の変更について（追認）	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決								
	議案第57号	財産の取得の変更について（追認）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決									

※表の見方 「○」は賛成 「×」は反対

報告・継続審査案件

報告	令和5年度藤井寺市健全化判断比率の報告について
	令和5年度藤井寺市資金不足比率の報告について
継続審査	令和5年度藤井寺市一般会計歳入歳出決算認定について
	令和5年度藤井寺市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
	令和5年度藤井寺市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
	令和5年度藤井寺市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
	令和5年度藤井寺市病院事業会計決算認定について
	令和5年度藤井寺市公共下水道事業会計決算認定について



令和6年第4回定例会のお知らせ

【本会議】

11月29日(金) 議案説明
12月10日(火) 一般質問
12月11日(水) 一般質問など
12月24日(火) 委員長報告・採決など

【常任委員会】

12月17日(火) 民生文教常任委員会
12月18日(水) 総務建設常任委員会

※各日10時から開催します。日程は変更する場合があります。